

2021年11月21日、定輪寺前公民館  
宗祇法師生誕六百年記念連句実作会

不二の雪 二十韻 蕉肝捌

不二の雪そこに夕陽の暮れ残り 蕉肝  
寒月背負い通う塾の子 龍一  
霜の花未来へたどる踏みふみて 桃瑪  
土手にあふれる撮り鉄のむれ 日菜  
ウ  
父遺すライカカメラを質に入れ 龍一  
夫婦喧嘩を冷ます長旅 蕉肝  
確かめるほくろの数と深情け 日菜  
記者会見は暴露続出 桃瑪  
霊送りよく乗りこなせ茄子の牛 蕉肝  
案山子の胸に大麻解禁 龍一  
ナオ  
筒ぬけて糸瓜の水を取りそこね 桃瑪  
玉虫ひそむ祖母の古箏筒 日菜  
相性の足の小指と椅子の角 龍一  
となりの国のいわし密漁 蕉肝  
月出でて胡弓いよいよ泣きそむる 日菜  
紅葉かつ散る寺の境内 桃瑪  
ナウ  
携帯のビデオ機能を知り尽くし 蕉肝  
渡鹿野島へ蝶はひらひら 龍一  
花万朶茶箱弁当うちひらき 桃瑪  
うなりひびかす手作りの凧 日菜

注..

○「相性の」の句は、「足」と「悪し」が掛詞になっている。

○渡鹿野島（わたかのじま）は最後の楽園と言われる。